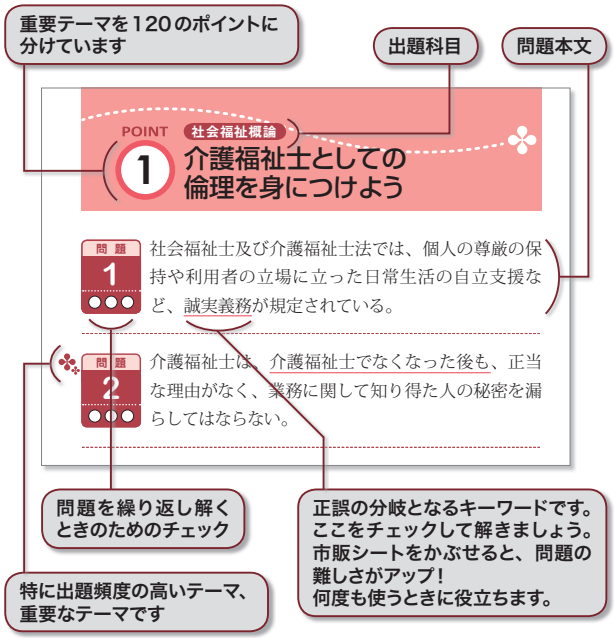
本書の使い方

- 本書は、介護福祉士国家試験合格を目指す人のための一問一答式問題集です。コンパクトな新書サイズなので、持ち歩きも簡単！
- なかなか時間が取れない人でも、ちょっとした空き時間にいつでも、どこでも手軽に勉強できます。
- 暗記にも適した重要問題を全946問ピックアップ。何度も繰り返し解くことで、理解力も上がります。
- ノートに自分で書き出してみたり、声に出して読みあげてみると、より効果的です。
- 本書を片手に、合格目指して頑張りましょう！

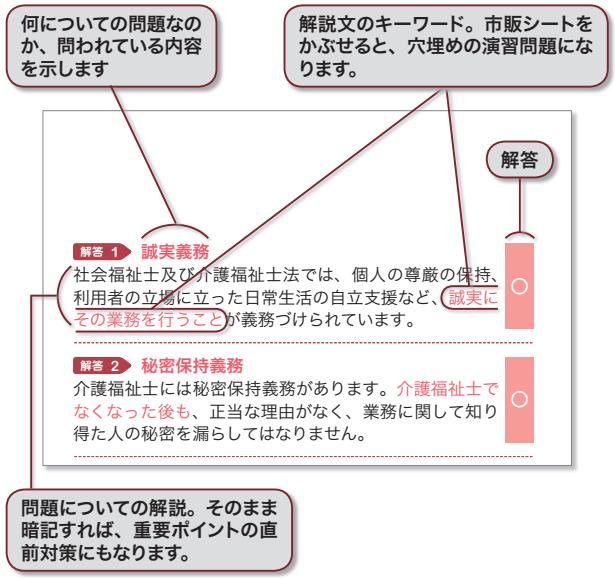
●問題ページ



本書の構成

- 出題科目ごとに章で分けています。最初のページに、章で覚えて欲しいキーワードとポイントを手短に解説。これに目を通しておくと、学習が進めやすくなります。
- 章ごとに、苦手な人が多い、間違えやすい重要ポイント2つを箇条書きや図にまとめ、チェックできるようにしました。
- 問題と解答のページは、一問一答形式。市販のシートを使えば、問題をより難しくしたり、解答部分も穴埋め問題として利用したりと、何通りもの使い方ができます。
- 巻末には、試験会場でも役立つ、直前チェック問題を掲載。まとめと知識の最終確認に役立ててください。

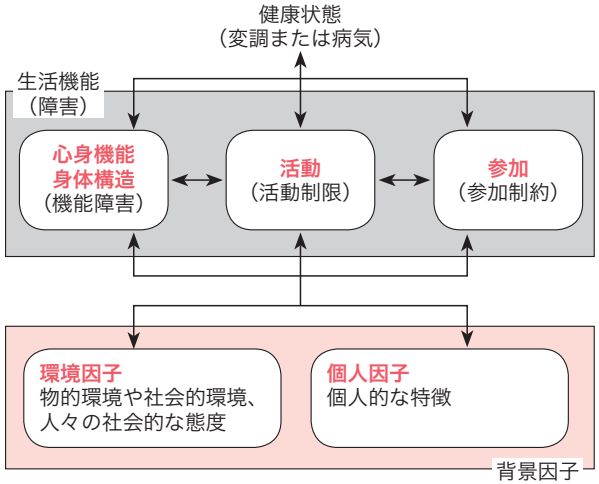
●解答ページ



※本書に記載されている内容は2010年3月10日現在のものです。

CHECK!

ICFの構成要素間の相互作用



おもな廃用症候群

運動器障害	筋力低下、筋萎縮、関節拘縮、骨粗鬆症、腰背痛など
循環器障害	起立性低血圧、静脈血栓症、肺炎、浮腫、褥瘡など
自律神経障害	便秘、尿失禁、低体温症など
精神障害	認知症症状、抑うつ傾向、食欲不振、不眠、睡眠障害など
その他	尿路感染症、尿路結石など

POINT リハビリテーション論

23 ICFの考え方やリハビリテーションの概念について理解しよう

問題 1 医学的リハビリテーションとは、障害の医学的治療を行うことのみを指す。

問題 2 リハビリテーションのおもな領域は、医学、社会、教育の3つである。

問題 3 リハビリテーションとは、機能訓練や社会的適応を通して、全人間的復権を目指す技術や社会的政策を含めた総合的体系であり、目的はQOLの向上である。

問題 4 ICFでは、ICIDHにおける機能障害、能力障害、社会的不利を、心身機能・身体構造の機能障害、活動制限、参加制約と置き換えた。

問題 5 ICFにおける「生活機能」とは、心身機能・身体構造、活動、参加のすべてを含む包括用語であり、それに問題が生じた状態を、「障害」という。

問題 6 ICFにおける背景因子には、環境因子と個人因子があり、介護者は、個人因子に含まれる。

問題 7 ICFの活用により、障害や疾病の状態についての共通理解を持つことができるようになると期待されている。

解答 1 **医学的リハビリテーション**
医学的リハビリテーションでは、障害の医学的治療を行い、障害の改善、二次障害の予防、機能の維持・回復、能力低下の予防などを図り、自立生活を支援します。 ×

解答 2 **リハビリテーションの領域**
リハビリテーションのおもな領域は、医学、社会、教育、職業の4つであり、これらを組み合わせ、障害者の機能的能力を最大限に高めていくよう援助します。 ×

解答 3 **リハビリテーションの目的**
リハビリテーションは、障害者の全人間的復権を目指すもので、ADLの維持・向上にとどまらず、最大限のQOLの向上を図ることといえます。 ○

解答 4 **ICIDH（国際障害分類）とICF（国際生活機能分類）**
ICFでは、ICIDHの機能障害、能力障害、社会的不利というマイナス面からの評価を、生活機能に問題が生じた状態として機能障害、活動制限、参加制約ととらえました。 ○

解答 5 **ICFにおける「生活機能」**
ICFでは、心身機能・身体構造、活動、参加を包括して、「生活機能」と呼んでいます。人間の生活機能と障害について、プラス面からとらえる考え方です。 ○

解答 6 **ICFにおける背景因子**
背景因子のうち環境因子とは、物的環境、社会的環境、人々の社会的な態度による環境などの特徴が持つ影響力で、介護者は環境因子に含まれます。 ×

解答 7 **ICFの活用**
ICFの目的は、健康状況と健康関連状況の統一的・標準的言語や概念を提供することであり、ICFの活用で、障害の状態等の共通理解が進むことが期待されています。 ○

POINT リハビリテーション論

24 リハビリテーションの実際について押さえよう

問題 1 介護保険法第4条では、国民の努力および義務として、常に健康の保持増進に努めるとともに、有する能力の維持向上に努めることを規定している。

問題 2 障害者雇用促進法の職業リハビリテーションの対象は、身体障害者と知的障害者である。

問題 3 リハビリテーション専門職のうち、視能訓練士、義肢装具士は国家資格である。

問題 4 回復期リハビリテーション病棟で提供されるリハビリテーションは、介護保険から提供されるサービスである。

問題 5 関節拘縮（こうしゅく）などを予防するための関節可動域訓練は、他動的訓練よりも自動的訓練を行うのが望ましい。

問題 6 リハビリテーションによって機能を回復・改善し、自力でできるようになることが重要で、福祉用具はできるだけ使用しないほうがよい。

問題 7 リハビリテーションは、障害が固定してから開始されるものである。